

2014年5月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
国内学会		
1	発表者名	小島 肇
	演題名	シンポジウムⅡ「iPS細胞技術の発展と創薬・治療への応用」動物実験代替法へのiPS細胞の応用
	学会名, 発表年月及び場所	第21回HAB研究機構学術年会(2014.5)(東京)
2	発表者名	小島 肇
	演題名	シンポジウムⅢ「化粧品および製薬開発における動物実験の世界的動向」EUにおける化粧品開発の現状と今後の動勢
	学会名, 発表年月及び場所	日本実験動物科学技術さっぽろ2014(第61回日本実験動物学会総会, 第48回日本実験動物技術者協会総会)(2014.5)(札幌)
3	発表者名	小島 肇
	演題名	海外レギュレーションの最近の動向
	学会名, 発表年月及び場所	平成26年度日本環境変異原学会公開シンポジウム「レギュラトリーサイエンス」(2014.5)(東京)
4	発表者名	小島 肇
	演題名	シンポジウム2「創薬を支援する先端培養技術:PKPD予測に有用なヒト細胞の培養モデル」新しい評価体系構築に関する欧州の動向と日本の寄与
	学会名, 発表年月及び場所	日本組織培養学会 第87回大会(2014.5)(東京)

5	発表者名	Hajime Kojima, Nicole Kleinstreuer ^{*1} , Lim Chae-Hyung ^{*2} , Takashi Sozu ^{*3} , Mika Watanabe ^{*4} , Takeru Niitsma ^{*4} , Kunihiko Yamashita ^{*5} , Takayuki Fukuda ^{*6} , Noriko Yamaguchi ^{*6} , Sho Fujiwara ^{*6} , Hiroyuki Yamaguchi ^{*7,*8} and Toshiaki Takezawa ^{*8}
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	^{*1} ILS/NICEATM/ICCVAM, ^{*2} KOCVAM/MFDS, ^{*3} Kyoto University, ^{*4} Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center, ^{*5} Daicel Corporation, ^{*6} BoZo Research Center Inc., ^{*7} Kanto Chemical Co.,Inc., ^{*8} National Institute of Agrobiological Sciences
	演題名	Pre-validation study of Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) method (Vitrigel-EIT:眼刺激性試験)法のプレバリデーション研究
	学会名, 発表年月及び場所	日本組織培養学会 第87回大会(2014.5)(東京)
6	発表者名	小島 肇
	演題名	Vitrigel-modelを活用したADME/Tox試験法の実用化構想
	学会名, 発表年月及び場所	NIASシンポジウム「再生医療, 創薬および動物実験代替法分野における実用化を指向したコラーゲンビトリゲルの開発状況(2014.5)(東京)